

芝共立キャンパス内にいるときに**大地震**が発生したら

1. 地震発生:あわてない!まず、その場で自分の身を守る。

- (1) 芝共キャンパスの校舎は耐(免)震構造になっているので、無闇に外に出ない。
- (2) 周囲の窓・棚・天井のガラスが割れたり物が落ちてきそうな場所から離れる。
- (3) 机の下にもぐる。バッグや衣類などで頭を覆い、落下物から身を守る。
- (4) 余裕があれば、ドアを開け、出口を確保する。
- (5) 実験中で火気や薬品を使用している場合は、ただちに中止し、担当教員の指示に従い、行動する。
- (6) 芝共立キャンパスのエレベーターは最寄りの階に停止するようになっているので、エレベーターに乗っているときは、自動的に停止した階で降りる。閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターフォンで外部と連絡をとり、救助を待つ。
- (7) 中庭など建物外にいるときは、落下物に注意し、危険のない場所で揺れがおさまるのを待つ。

2. 揺れがおさまったら:自分のいる場所の安全を確認する。

- (1) 室内の設備の転倒・ガラスが飛散・薬品の漏れがないか?
- (2) 壁にひびが入っていないか、ロッカーや実験器具は傾いていないか?
- (3) 室内で、火災が発生していないか?

3. 今、どこにいるか

- (1) 建物内にいる場合、危険がない限り、本震・余震の場合も建物内で待機する。
- (2) 屋外にいる場合、状況を確認して、落下物に注意しながら避難場所(芝公園)に避難する。

4. 避難するときの注意点

- (1) 非常放送や教職員の指示に従う。授業中は担当教員の指示に従う。
- (2) 避難経路の安全を確認しながら、落ち着いて、避難場所(芝公園)に避難する。
- (3) 階段を使う。エレベーターは絶対に使わない。
- (4) 押しあわず、走らない。お互いに声をかけながら避難する。
- (5) 忘れ物があっても、元の場所に戻らない。

5. 火災を見つけたら

- (1) 火災を見つけたら、大声で周りに人に知らせ、近くの火災報知器のボタンを押す。
- (2) 火元から速やかに離れ、建物外に避難する。

6. 停電したら

- (1) あわてない。無闇に動かない。
- (2) 避難の際は、非常灯や懐中電灯、携帯電話のライト機能を利用して、足元に気をつけながら落ち着いて避難する。

7. 交通機関が止まって、家に帰れないときは

- (1) 歩いて帰宅が困難な場合は、学内で待機場所を用意する。教職員の指示に従って、待機場所に移動する。

防災マニュアル <http://www.gakuji.keio.ac.jp/3946mc0000002ed9-at/3946mc000000gmoq.pdf>

下記の「芝共立キャンパス避難経路図」も参考に!

芝共立キャンパス避難経路図

